

被爆75年・友の会発足65周年 原爆被災者の会結成55周年 記念式典・祝賀会

～核兵器の全面廃絶と被爆者救済・原爆被害への国家補償を求めて～

1955年に広島で開催された「第1回原水爆禁止世界大会」に参加した被爆者が集い、その年の秋に「神奈川友の会」を発足させて被爆者の活動を始めています。1966年1月23日に横浜の県立勤労会館において県下の原爆被災者の懇談会が開かれ、会の名称を「神奈川県原爆被災者の会」とし、「健康のことや生活のことを話し合い、助け合い、励まし合って行きましょう」と活動を始めました。以来、神奈川県原爆被災者の会の皆さまは日本被団協と共に「核兵器の全面廃絶と被爆者救済・原爆被害への国家補償を求めて」活動を続けておられます。神奈川の生協は、これまでもそしてこれからも、原爆被災者の会の皆さまと一緒に、核兵器のない世界を実現するために力を尽くしていきます。

- 日 時 / 2020年1月19日(日) 10:00～14:00
- 会 場 / ワークピア横浜 3階 いちょう・かもめ・やまゆり
- 参加者 / 106名(うち生協関係8生協15名)
- 次 第 /



★ 記念式典

- 司 会：木本 征男 神奈川県原爆被災者の会副会長
- スライド上映：映像による神奈川県被爆者友の会65年・神奈川県原爆被災者の会55年のあゆみ
- 開 会：
- 黙 祷：
- 主催者挨拶：丸山 進 神奈川県原爆被災者の会会長
- 来賓ご挨拶：黒岩 祐治 神奈川県知事
 (代理：香川 智佳子 福祉子どもみらい局局长)
 田中 熙巳 日本原水爆被害者団体協議会代表委員
 敷田 博昭 自由民主党神奈川県議会議員団団長
- 感謝状贈呈：ヒバクシャ国際署名生協推進委員会/原水爆禁止神奈川県協議会/
 (株)神奈川機関誌印刷所/高野石材店/宗教法人大船観音寺
- 受賞者挨拶：當貝 伸一 神奈川県生協連代表理事会長
- 記念講演：「ふたたび被爆者をつくらない その希いをかなえる仕組みをもとめて」
 ～現行の「法律」は被爆者運動が求めていた援護法なのか？～
 講師：濱谷 正晴 一橋大学名誉教授
- 閉 会：



★ 祝賀会

- 司 会：木本 征男 神奈川県原爆被災者の会副会長
- 主催者挨拶：網崎万喜男 神奈川県原爆被災者の会副会長
- 来賓ご挨拶：藤田 順子 パルシステム神奈川ゆめコープ理事長
 片野 憲二 原水爆禁止神奈川県協議会理事長
 黒澤 知弘 馬車道法律事務所・弁護士
 家島 昌志 (一社)東友会代表理事
- 乾 杯：横山 草太 (株)神奈川機関誌印刷所代表取締役社長
- 来賓ご紹介：東 勝廣 神奈川県原爆被災者の会事務局長
- 会食懇談 能 楽：安藤 孝宏
 各支部紹介：福島 富子 神奈川県原爆被災者の会副会長
 演 奏：吉川 敏男(折り鶴)
- 合 唱：ひろしま平和の歌・長崎の鐘・原爆を許すまじ
- 閉会挨拶：和田 征子 神奈川県原爆被災者の会副会長

日本チェーンストア協会との懇談 神奈川県生活者懇談会に参加しました

日本チェーンストア協会(1967年8月2日設立)は、チェーンストアの健全な発展と普及を図ることにより、小売業の経営の改善を通じて、わが国流通機構の合理化、近代化を促進するとともに、国民生活の向上に寄与することを趣旨として活動しています。

今回の懇談会の主旨は、消費生活について懇談する機会を通じて生活者、事業者、行政の相互理解を深め、役割を確認しつつ、協調して諸課題の解決に向けてそれぞれの立場で努力するというものです。前半は日本チェーンストア協会から取り組みについて報告を受け、後半は、事前アンケートに基づく質問への回答という形で懇談しました。

- 日 時 / 2020年1月24日(金) 11:00~15:00
- 会 場 / ワークピア横浜
- 出席者 / 日本チェーンストア協会関東支部：15社20名
行政：神奈川県、横浜市
消費者：10団体14名



県民活動サポートセンターと大規模災害 ボランティア活動に関する懇談

神奈川県では、ボランティア活動の支援を行っている「かながわ県民活動サポートセンター」が、かながわ県民センター内にあり、様々なボランティア活動(自主的で営利を目的としない社会貢献のための活動)の支援を行っています。災害時には災害ボランティア活動全般の支援を行っており、このたび大規模災害対策委員会世話人会と初の懇談をしました。

災害時の連携強化にむけ、今後も交流を深めることを確認しました。

- 日 時 / 2020年1月14日(火) 14:30~16:00
- 会 場 / かながわ県民活動サポートセンター会議室
- 参 加 / [神奈川県] ボランティア活動サポート課 木部力淑課長、藤代早苗課長補佐、菅尾尚彦主査 [県生協連] 五月女博之(ユーコープ)、目黒勇人(生活クラブ生協)、内藤努(パルシステム神奈川ゆめコープ)、相田祐二(神奈川県生協連)

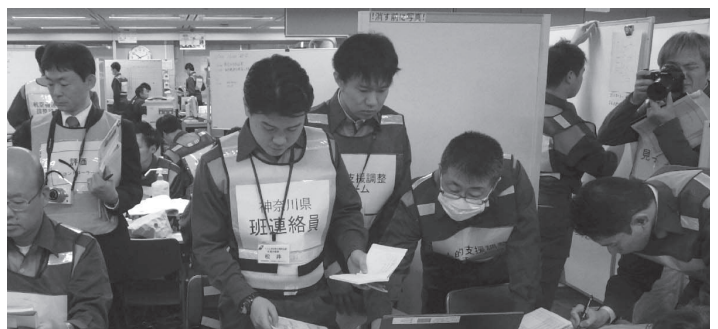


第10回 九都県市合同防災訓練・図上訓練に参加

九都県市では、「九都県市災害時相互応援等に関する協定」に基づき、九都県市相互の連携及び九都県市域外の組織との連携等を目的とした図上訓練を毎年実施しています。この訓練は、各都県市が共通想定に基づき、それぞれの災害対応を行うとともに、九都県市相互及び域外の組織との連携を図るものです。

今年も神奈川県より県生協連への参加要請があり、合同訓練と併せて、大規模災害時の会員生協と連携強化訓練としてMCA無線訓練に取り組みました。

- 日 時 / 2020年1月21日(火) 10:00~15:00
- 会 場 / 神奈川県庁 第2分庁舎 7階 危機管理センター
- 内 容 / 都心南部を震源とするマグニチュード7.3の首都直下地震が発生したとの想定により、発災18時間から23時間後までの状況をロールプレイング方式で実施





神奈川まるごと健康づくり

- ☆「健康」はすべて人の願いです。フレイルを予防するための重要なポイントは「栄養(食・口腔機能)」「運動」「社会参加」です。年に一度は検診を受診し、結果を受けて改善の目標を作り、実践し、また翌年、検診を受診するという「健康のサイクルに取り組む」ことは健康づくりの土台です。「健康チェック」「健康チャレンジ」をこのサイクルの中で役立てていきます。
- ☆医療福祉生協の8つの生活習慣と認知症予防などの項目を基本にしながら、健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばすさまざまなきっかけづくりを行います。
- ☆生協や協同組合はもちろんさまざまな団体と連携を深め、世代を超えて楽しく健康づくりに取り組める場をたくさんつくり、神奈川まるごと健康づくりをめざします。
- ☆神奈川まるごと健康づくりは、組織の枠を超えたつながりづくり、生協自身の健康づくりにもつながっています。この取り組みは、日本コープ共済連の助成を受けて実施しています。



健康チャレンジ 2019

1月29日 福祉クラブ生協

健康づくりは、思ってもなかなかきっかけがないと始めないもの。いつも出来ていないことを一つ「これをやろう、がんばろう」と決めて、10月・11月の間に30日間以上取り組む健康チャレンジ。多くの方が取り組まれ、そのうち約3,500名の皆さまがチャレンジシートを提出されました。

提出者へは、「ピロピロ3033エクササイズ」(腹式呼吸エクササイズ)をご案内。



人づくり 健康づくりリーダー養成講座

★福祉クラブ生協 1月29日(水)

- ・修了者/45名(男6名、女39名)
福祉クラブ生協(W.Coメンバー、組合員、職員)
- ・講師/石田昌美 神奈川県生協連統括マネージャー

★福祉クラブ生協 2月1日(土)

- ・修了者/15名(男2名、女13名)
福祉クラブ生協(介護生活用品W.Coメンバー)
- ・講師/石田昌美 神奈川県生協連統括マネージャー

2月1日 福祉クラブ生協



組合員による健康づくり 健康チェック

★ユーコープ片倉店 2月9日(日)

- ・健康チェックの参加者/33名
新規15名/男5名(43歳~89歳)、女10名(28歳~81歳)
再 18名/(男4名、女14名)
- ・測定者/6名
- ・測定項目/体重、BMI、体脂肪率、筋肉量、体内水分量、基礎代謝、血圧、ストレス・リラックス度、血管年齢、握力、足指力
- ・測定使用器具/血圧計、ストレス計、体組成計、握力計、足指力計



2月9日 ユーコープ片倉店



医療福祉生協の関連企画との連携

2月11日 神奈川中央医療生協 第2回活動交流集会

講演/「オーラルフレイル予防」中澤桂一郎
(利根保健生協利根歯科診療所所長)

支部・事業所の報告、ポスター展示等

横浜市生協運営協議会 憲法カフェを開催

憲法改正に向けた動きが活発化する中、子どもに「憲法ってなに?」と聞かれたときに答えられる大人になることをめざしての企画です。神奈川新聞田崎基記者をお迎えしたこの日、会場いっぱいの参加者と憲法の今を真剣に考えることができました。無関心が最大の敵。子たちの未来のために行動していくことを、改めて確認することができました。

- 名 称 / 神奈川新聞田崎記者の子育て孫育ての人のための憲法カフェ
- 日 時 / 2020年2月4日(火) 10:00~12:00
- 会 場 / 新横浜オルタナティブ生活館 3階 301号室
- 参加者 / 60名
- 主 催 / 横浜市生協運営協議会・生活クラブ生協神奈川環境平和委員会
- 講 師 / 田崎 基(たざきもと) 神奈川新聞 記者



かながわCo-ネット 「地産地消現地学習会」開催しました

かながわCo-ネット(神奈川県協同組合連絡協議会)では県内の協同組合が地域でつながり、協同して発展すること、そして県内農林水産物の地産地消の促進をめざして活動しています。

2月7日、かながわCo-ネット主催による「地産地消現地学習会」が開催されました。今回のテーマは、「三浦から発信する地域イノベーション」。三浦市農協で三浦地域の農業と課題についての学習(「三浦キャベツ」の収穫体験を予定していましたが、昨年秋の台風の影響で生育が悪く残念ながら中止となりました)、県水産技術センターが進める「キャベツうに」研究の視察などを通じて、地産地消の大切さと、地域資源の有効活用と連携の具体例(イノベーション)について学ぶことができました。

- 日 時 / 2020年2月7日(金)
- 主 催 / かながわCo-ネット(神奈川県協同組合連絡協議会)
- 参加者 / 9団体21名
神奈川県水産技術センター所長、学識経験者2名
(参加団体 JAさがみ、JA湘南、JAかながわ西湘、JA神奈川中央会、ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、日本労働者協同組合連合会ワーカーズコープセンター事業団、神奈川県漁業協同組合連合会、神奈川県生協連)
- 訪問先 / ① 三浦市農業協同組合本店
② 長井町漁協「長井市場食堂」
③ 県漁連まぐろ直販センター
④ うらりマルシェやさい館
⑤ 県水産技術センター



2020年 神奈川県消費者のつどい

プラスチックごみと私たちの暮らし

~誰もが安心して暮らせる社会をめざして~

- 日時 / 2020年2月26日(水) 10:00~15:15
- 会場 / かながわ県民センター
- ❖ 全体会 : 10:00~12:30 2階ホール
- ❖ 分科会 : 13:15~15:15

「私たちの暮らしに役立つ標準化」305会議室
「知って安心!自然災害と損害保険」1501会議室

2019年度 第5回 理事会報告

- 日時 / 2020年1月21日(火) 15:30~17:00
- 会場 / こくみん共済coop神奈川会館 5階 特別会議室

【議決事項】

1. 専務理事の辞任に伴う互選について
2. 2020年度神奈川県生協連年間日程について
3. 神奈川県生活協同組合連合会第69回通常総会の開催について
4. 神奈川県生活協同組合連合会2020年度予算編成方針と審議の進め方について